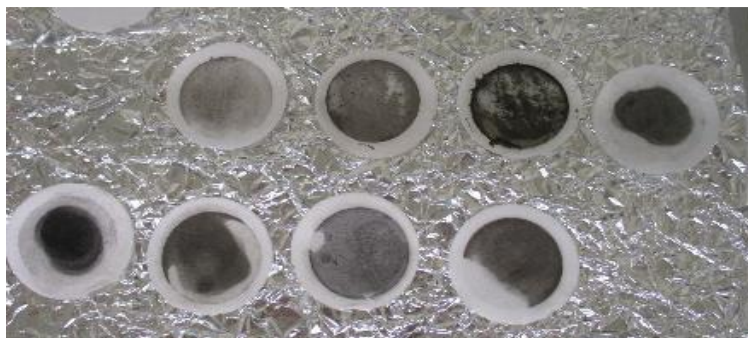


- 目的** 汚染の原因となる懸濁物質（粒径2mm以下の物質）が、水1リットルあたりに含まれる重量（mg/L）で表す。
- 対象** 排水、洗浄液など
- 分析項目** 懸濁物質の測定
- 試験概要** 検体を吸引ろ過し、洗浄、乾燥後のろ紙前後の重さから、残渣から重量(mg/L)を算出する。

- ①試料を、乾燥後の懸濁物質が2mg以上になるように、採取します。  
（試料の状態により、採取量が異なります）  
採取した試料をろ過後、純水で洗浄します。



- ②110℃で2時間乾燥させ、重量の測定をします。



下の計算式から、測定値を算出をします。

$$S = (A - B) \times 1000 / V$$

- S：懸濁物質濃度（mg/L）  
A：懸濁物質を含んだフィルターの質量  
B：空フィルターの質量  
V：試料量（ml）

